

## 安全・安心支援部

### ◇支援内容

子どもたちが、学校や地域で安全に安心して過ごせるように

○登下校や地域での子どもたちの見守り

○放課後山形っ子タイムでの子どもたちの活動（学習や遊び）の見守り

※登録ボランティア数:20名(H29年度 新規に7名名登録、内2名は保護者)

〈放課後 山形っ子タイム〉

願 望

学校では、子どもたちの「遊び」を通して、体力の向上や人間関係づくり、思いやりの気持を育むことを願っている。その具体的な取り組みとして、水曜日の放課後（15時15分～16時05分）に子どもたちが学校に残って遊べる「山形っ子タイム」を設定している。

そこで、子どもたちが「放課後山形っ子タイム」において安全に安心して遊んだり学習したりできるように支援ボランティアが見守り活動を行っている。



### ◇実施内容

(1) 期日 4月19日～10月25日までの水曜日（年間20回）

(2) 場所 遊び：校庭 南庭 体育館 前庭 学習：図書館 地域支援室

(3) 参加児童 1年生から6年生の希望者

### ◇支援（活動）の様子

○1学期 10回実施（中止2回）。毎回約75名位の参加。低学年児童の参加が多い。今年度、高学年児童の参加がある。

[参加状況]

	4/19	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	合計
1学年	11	9	11	16	14	20	21		21		18	21	162
2学年	21	17	20	16	15	13	20		16		13	16	167
3学年	35	31	36	28	27	28	27		21		20	21	274
4学年	11	9	8	7	9	11	9		9		1	4	78
5学年	8	8	10	6	6	5	4		5		2	2	56
6学年	1	1	0	0	0	0	0		0		0	0	2
合 計	87	75	85	73	71	77	81		72		54	64	739



### ◇一学期の振り返りから

○年度当初の「山形っ子タイム」の参加の仕方について指導してあったこともあり、危険な行動が少なく、大きな怪我をする子もいなかった。

○今まで続けてきた成果と考えられることとして、今年度は高学年の参加が増えていること。

○山形っ子タイムに参加している子の中に、地域の支援者と触れ合うことで満足し、気持ちを和らいでいる子どもたちも大勢いる。

○家庭や学校であまり認められていない、向き合ってもらえていないと感じている子どもやうまく友達と関われない等の特性を持っている子ども達が参加し、地域の方との触れ合いを楽しみにしている姿も見られる。

○異年齢の子どもたちが参加しているが、学年の枠を超えて集団で遊ぶ姿は見られない。子ども達も何をして遊べばいいかわからない。遊び方を知らない子どもたちの姿が伺える。

○基本的な躰（下足箱に靴を入れる。使った机は整頓して帰る。部屋にある物を勝手に持っていかない等）がなされていない。学校での姿と山形っ子タイムでの姿に違いが見える。場所や人が違ってても基本的なルールは守れる子どもたちであってほしい。

○カードを持ってこなくて参加する子がいる。カードを忘れて遊べないのは「楽しみにしていたのにかわいそう」と言うことで許したことが、カードが無くて参加する子を増やしてしまった。ほとんど同じ子ども達。→2学期スタートの時に、家の人の許可が無いと残れない（カードが無いと参加できない）ことを学校で指導してもらい、家庭にも知らせるようにする。

○西側の渡り廊下に置いてある「一輪車を使いたい」という子どもたちがいた。山形っ子タイムで使っているのかどうか判断ができず困った。→遊ぶ場所は、体育館、校庭、図書館、南庭、前庭、支援室と4月当初示してある。この時間には校舎内に入らない。

○体育館の周りや校庭の道路ぎわで鬼ごっこをしている子どもの姿が見られる。道路に飛び出さないか心配しながら注意はしているが、子の姿は、山形っ子タイムだけの姿なのか？

○山形っ子タイムが始まって10分ぐらいで帰る子どもがいる。途中で帰って家に誰がいるのか心配になる。

